

令和3年度 幼保連携型認定こども園 宮崎学園短期大学附属清武みどり幼稚園 学校関係者評価書

令和4年3月

評価段階 4：そう思う 3：ややそう思う 2：あまり思わない 1：思わない

評価項目	自己評価			実態分析・考察(○) 改善策(☆)	学校関係者評価委員の意見
	保護者	職員	平均値		
① <情報提供> 保護者や地域に向けて、園の情報が分かりやすく伝えられている。	3.23	3.26	3.24	○ 園のホームページや「れんらくアプリ」、園長だよりや学年だより等により、適切に情報提供が行われている。	○ 園長先生がたくさんのお便りを出していて、園の様子が保護者や地域によく伝わっていると思いました。 ○ コロナ禍の中で、直接的なコミュニケーションを図るのが難しいので、いろいろな方法で保護者の声を聞き、先生方の思いを伝える工夫が必要だと感じました。
② 保育者は、登降園時やクラス懇談の際に子どもの様子を良く伝えている。	2.98	3.31	3.04	○ 全設問項目中、平均値が最も低い。特に本年度は新型コロナウイルス感染症の影響で多くの行事が中止や縮小・変更を余儀なくされており、保護者と職員が直接対話をする場が少なくなった。 ☆ 保護者と職員との直接対話の場をどう確保するか、また、バス通園児の保護者との接点ももてないので、電話やSNSの活用も検討していく。	
③ <保育活動> 育ちの上で必要な、子どもが楽しんで参加できるような行事がある。	3.19	3.30	3.21	○ 本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で多くの行事が中止や縮小をせざるを得なかったため、子どもたちには寂しい思いをさせてしまった。 ☆ 今後は新型コロナウイルス感染症の状況も注視しながら、そのような環境下で実施できるような行事等を検討していきたい。	○ 行事などの実施が難しい状況でしたが「ボールで遊ぼう」やクリスマス会、発表会など、感染対策をしながらできたことが、とてもよかったと思います。子どもたちも一人一人が確かな成長の跡と楽しい思い出を作ることができたようです。
④ 友達と仲良くする気持ちを育てようとしている。	3.23	3.62	3.29	○ 保護者・職員共に概ね良好だと捉えている。	
⑤ 外遊びやリズム遊び等で楽しみながら体力をつける工夫をしている。	3.33	3.27	3.32	○ 本年度はプロサッカーJリーグ(J3)「テゲバジャーク」のコーチを講師として招き、年長児だけではあるが、月2回程度の活動を実施できた。 ☆ 来年度も引き続き年長児を対象に実施する。	
⑥ <子どもの姿> 子どもは園での生活を喜び、楽しんで通っている。	3.38	3.60	3.41	○ 職員の評価が高い。コロナ禍でも、職員が保育内容を工夫していることの表れだと考える。	○ 時々、清武小学校の校舎から園を見ることがあります。子どもたちの元気な姿と明るい声がいつも聞こえています。
⑦ 日々の活動を通して、子どもの心身の成長を感じることができる。	3.40	3.78	3.46	○ 保護者・職員共に評価が高い。引き続き、充実した保育を継続していく。	

評価項目	自己評価			実態分析・考察(○) 改善策(☆)	学校関係者評価委員の意見
	保護者	職員	平均値		
⑧ <保育者> 保育者は、子どもに温かい言葉遣いや優しい態度で接している。	3.45	3.52	3.46	○ 保護者・職員共に人権に対する意識が高いことがうかがえる。	○ 職員の皆さんが、子どもたちに愛情をたっぷり注いで、優しく接していることが、保護者の評価からも分かります。子どもの成長の姿をとおして、保護者は園を信頼するのだと思いました。
⑨ 保育者は、仕事にふさわしい身なり節度ある行動・態度が取れている。	3.54	3.62	3.55	○ 保護者・職員共に評価は高い。今後も、保護者や子どもたちに対してはもちろん、来訪者への接遇にも配慮していく。	
⑩ 保育者は、保護者の意見や相談等に対して、適切に対応している。	3.41	3.54	3.43	○ 保護者は、保育者の対応は良好だと受け止めている。保育者も子どもの健やかな成長を促すための情報の共有の必要性を感じている。	
⑪ <環境整備> 園は、子どもにとって楽しんで遊べる教育・保育環境の工夫をしている。	3.28	3.25	3.27	○ 保護者・職員共に評価が他に比較にして低めである。 ☆本年度後半から本格的に始まった認定子ども園改革の一環として、玩具絵本の充実が図られはじめた。保育環境の充実を推進することで、よりよい保育の実現を目指したい。	○ 相談窓口担当者や意見箱を設置して、保護者の声や思いに対応しようとする姿勢が素晴らしいと思います。保護者も安心して子どもを任せられることと思いました。
⑫ 疑問や希望、苦情等の窓口が整備され、適切な対応をしている。	3.15	3.38	3.19	○ 保護者に相談窓口担当者や意見箱の設置などお知らせし、活用をお願いしている。要望等が出された場合は、速やかに対応するよう配慮している。	
⑬ <その他> 0歳児から就学前まで一貫した教育・保育が受けられることは良いことだと思う。	3.42	3.62	3.46	○ 幼保連携型認定こども園となって5年が経過し、6年間の保育の良さを徐々に実感しているようだ。	○ 0歳児から6年間の教育・保育を行うということは、並々ならぬ保育者の努力と工夫が必要であり、頭の下がる思いです。職員の方々が生き生きと働ける職場環境づくりも大切だと思いました。
⑭ 幼稚園の保育に満足している。	3.22	3.20	3.21	○ 本年度は保育者の数が十分揃っていなかったことから、職員自身が満足できる保育ができていないと感じている。 ☆来年度は宮崎学園短期大学から2人新規採用すると共に、常勤欠員0となり、スタッフが揃うこととなる。	
学校関係者評価委員の結びの言葉	○ 清武みどり幼稚園では、就学前教育・保育の重要性をしっかりと理解して、心豊かで健やかな子どもたちを育み、小学校に入学させていただいていることに心から感謝申し上げます。これからも、連携を図りながら、清武地区の将来を担う子どもたちを幼保小で育てていきましょう。				